



里山ハイイクでサクラ満喫

— 仏隆寺～室生寺～大野寺 —

日時：平成29年4月16日(日)

場所：宇陀市(奈良県)

参加者：24名 (近畿支部員：5名)

主催：日本ビオトープ管理士会 近畿支部 ほか

概要：室生古道とサクラの名木巡り

- ◆仏隆寺：千年桜 ◆西光寺：城之山桜
- ◆室生寺：杉の巨木 ◆大野寺：小糸桜

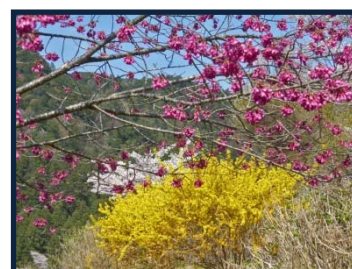


↑ 仏隆寺の「千年桜」

《研修レポート》

昨年の研修会は、4月3日に奈良県宇陀市の「又兵衛桜」を見に行きましたが、今年は4月も中旬、もしかすれば既に桜は散り始めているかも……、と不安だったのですが、まだまだ大丈夫、ほぼ「満開」という感じでした。

どうも今年は桜の開花が遅いのでしょうか、カンヒザクラやタムシバ、ハクモクレンにレンギョウ、例年であれば開花期が幾分ズレるはずの花々が、この日はまさに「百花繚乱」！！



集合は午前10時、近鉄電車の「榛原」駅からバスで「高井」下車、室生古道をしばらく歩くと「仏隆寺」に到着です。

参道の石段脇にある桜の巨樹は「千年桜」と呼ばれ、ヤマザクラとエドヒガンとの雑種である「モチツキザクラ」の一種で、樹齢は約900年、奈良県では最古のサクラだと言われています。



溪流沿いのサクラの下での昼食時、枝上に「アマガエル」の姿が……(*^_^*)

空腹を満たしたところで歩行再開、少し歩くと樹齢300年の枝垂れ桜「城之山桜」が有名な「西光寺」。

この見事な枝垂れ桜も満開でした！！



↑ 西光寺の「城之山桜」



そこから15分程歩くと、「女人高野」の別名を持つ「室生寺」、境内はシャクナゲの名所として知られています。

また、ここの「五重塔」は、1998年の9月、台風7号の強風で近くの大木(樹高約50m)が倒れた際に屋根を直撃、大きな被

害を受けたことを覚えておられる方も多いのでは…。

その復旧工事の際に、当初材を年輪年代測定法で調査したところ、794年頃に伐採されたものであることが判明したそうです。



← 室生寺

奈良盆地の東方、
三重県境に近い室生
の地にある山岳寺院

五重塔 →

周囲の杉の大木
が倒れると……
五重塔危うし…



↑ キチョウがスミレを訪花

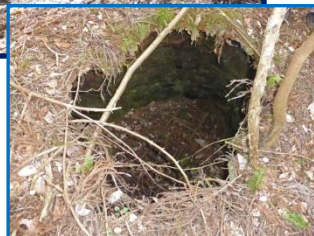


この日の歩行距離は 14km 弱、
特に「室生寺」から「大野寺」に向かう後半は杉林
の中の登り道も多く、「のんびりサクラ巡り」という
訳ではなかったのですが、色々な花が咲き乱れる快
晴の中、楽しい1日を過ごすことができました。

お世話になりました関係者の皆様方、ピオト
ープ管理士会 近畿支部の奥田理事様、
本当にありがとうございました。



↑ 炭窯跡を発見



日本ピオトープ管理士会 近畿支部 池口直樹

